



取扱説明書

ご使用前に以下に記載した説明を必ずお読みいただき正しく使用してください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

安全上のご注意

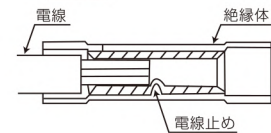
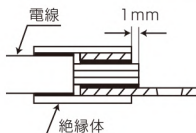
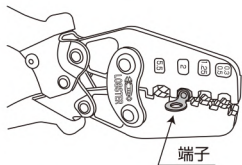
事故やけがを未然に防ぐために、次に記載する警告事項を必ず守ってください。

⚠ 警告

- 活線の圧着やその付近での作業は行わないでください。感電の恐れがあります。
- 適合する電線コネクタ(端子・スリーブ)と電線を使用し、正しくお使いください。
圧着不良により火災の原因になる恐れがあります。
 - ◆この工具は絶縁被覆付圧着端子、絶縁被覆付圧着スリーブ用です。
 - ◆端子(またはスリーブ)の呼びと工具のダイス位置とを必ず合わせてください。
 - ◆電線は電線組合わせ表の範囲でお使いください。
 - ◆成形確認機構により、圧着が完了しないとハンドルが開かない構造になっています。ハンドルが開くまで荷重を加えてください。
 - ◆成形確認機構を外しての使用等、改造して使用しないでください。
- ご使用前に各部に損傷がないかをチェックし、損傷がある場合は修理に出してください。圧着不良により火災の原因になる恐れがあります。
 - ◆工具の可動部(連結板・軸等)には、月に1~2回注油して下さい。油切れをしたまま使用すると軸部が著しく摩耗を起し、圧着不良の原因となります。
 - ◆成形確認機構が正常に作動しなくなった際は使用しないでください。
 - ◆各軸に摩耗によりガタが生じる等、損傷が見られた際は使用しないでください。
 - ◆圧着不良を未然に防ぎ、圧着性能を確認するため当社まで定期点検(年1~2回)に出してください。
- 高所作業の際は、ご自身に安全ベルトをして、工具の落下にもご注意ください。事故やけがの恐れがあります。
- 作業時にダイス部やハンドル部に手などをはさまないようにご注意ください。けがの恐れがあります。
- ハンドルが開く際、ハンドルの動きにご確認ください。けがの恐れがあります。
 - ◆成形確認機構が動きハンドルが勢いよく開くことがあります。
- 工具の修理は当社にお出ください。
 - ◆修理は必ずお買い求めの販売店、または当社にお出ください。不完全な修理は十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
- グリップ部の孔は簡易的なものであるため十分な強度はありません。落下防止用途では使用しないでください。

作業手順

- ハンドルが自力で開くまで、きつく握ってハンドルを全開にします。
- 端子(またはスリーブ)を呼び寸法に合ったダイス部にくわえ、ハンドルを軽く握り、端子(またはスリーブ)が落ちない程度に保持します。
- 電線の被覆を所定の長さに剥ぎ、端子(またはスリーブ)に挿入します。
端子は電線の心線部が約1mm出た状態で、B形スリーブは電線止めに心線部が接触した状態で圧着します。
- 成形確認機構が働いてハンドルが自力で開くまで荷重を加えます。
- 圧着した端子(またはスリーブ)を取り出し、正しく圧着されたかを確認します。



電線コネクタと電線の組み合わせ

使用する電線コネクタ(端子・スリーブ)と同じ呼び寸法のダイス位置にて圧着し、電線は電線抱合容量の範囲内でご使用ください。

端子・スリーブ呼び	電線抱合容量 mm ²	工具のダイス位置
0.3	0.2~0.5	0.3
0.5		0.5
1.25	0.3~1.65	1.25
2	1.04~2.63	2
3.5	2.63~4.6	5.5
5.5	2.63~6.64	



株式会社ロブテックス

〒579-8053
東大阪市四条町12-8 TEL(072)980-1111
<http://www.lobtex.co.jp/>



MADE IN JAPAN